

全国

長

南

会

通信

63号

事務局 : 300-0301 茨城県稲敷郡阿見町青宿 930 長南秀則 TEL/FAX 029-887-3190

発行日 : 令和元年 7 月 10 日



そくいれいせい でん 即位礼正殿の儀

ぎ

4 月 1 日に新元号「令和」と政府より発表がありました。この発表で嬉しかったことが、3 点ほどありました。

1 つ目は、新元号「令和」に至る経緯に祖先の梅にまつわる万葉集の序文の中から、「初春^{しよしゆん}の令月^{れいげつ}にして気淑^{きよ}く風和らぎ梅^{きようげん}は鏡前^この粉^{ひら}を披^{らん}き蘭^{らん}は諷^{はいご}後の香^かを薫^{かお}らす」から梅を参考に引き上げられたこと。

2 つ目は、今回の発表で太宰府天満宮が脚光を浴びたこと(天満宮の関係者も驚いていました)。

3 つ目は、祖先菅原道真公が平安時代の元号選定に関与していた(立場上当然とはいえ)こと、更に道真公亡き後も子孫たちが、何人か関与していたことのテレビ報道がありました。

何はともあれ、平和で戦争のない令和時代を願

新元号に寄せて 久喜市 長南俊春

っています。

小生が宮内庁との関わりを持つことが出来るようになったのは、昭和 38 年 4 月から営業部門に転勤になり、官公庁担当に配属されてからでした。

当時小生が勤務する会社では、熱線吸収型の照明器具(ハロゲン電球を使用)を販売しておりました。宮内庁より問い合わせがあり、即位の礼の時に対応できますかという事でした。対応できる旨答申し、細部の検討に入り平成天皇の即位の礼にご採用頂き、何事もなく即位の礼に問題もございませんでした。そして今回が 2 度目になります。小生なりに即位礼のことを記録にとどめるべく私自身が俳句を詠み、子孫に伝えることを考えたのでした。

季語には大変悩み、宮本奉子さんに相談をし教示いただきながら出来ました。後の子孫が何代か前のおじいさんが関係していた仕事と俳句に読まれていることを知り語りついでくれればと思います。

この一念で私は即位を前にして本年初めから俳句を20数句読み、その中から10句を投稿し、本誌(雅楽谷)に掲載して頂きました。

この俳句が掲載されるにつきましては、こうした思いで日々作句を続けておりました折、俳誌「雅楽谷」42号に投句依頼があり掲載の運びとなったものです。

いよいよ5月1日に第126代天皇の即位礼が挙行されます。これに続き10月22日は宮殿松の間^{たかみくら みちようだい}に高御座、御帳台が設置されその中に新天皇、皇后様が御着居なさり挙行されます。

こうして感慨深く振り返ってみますと30年前124代昭和天皇が逝去され葬儀に続いて即位の準備

に入ったことを思い出します。

特に皇后様は12単を着用されますので衣類の熱でお困りになる可能性があるとのこと心配と昭和天皇の即位の際にはテレビカメラによる放映(テレビ自体がなかった)にはなんらさしきわりはありませんでしたが、時代の要請でテレビ放映をしたいとの2点のことから小生に宮内庁より諮問があったことを、ご即位を前にして思い返しますことは平成天皇、今上天皇の御二代にわたって、報道のために我が社(東芝ライテック株)の照明器具をご採用いただき、私に対応申し上げて参りましたことを言います。

同人作品

常盤木の若葉待たれし新元号
気づかる皇后様の夏装束

^{たかみくら みちようだい}
高御座御帳台に寄す若葉風
新元号待たるる暦緑立つ
^{ゆずりは}
櫓やライトの先に両陛下

^{あらたま}
新玉の年いやさかに即位礼
新緑を浴び民の祝福即位礼
^{せきしゅう}
昔秋に我かわりし即位礼
寿きて祈念酒も早20年
^{みよ}
平成の御世ひきつぎて新年へ

中村就一さん訪問



ココファン柏明原にて 秀則、中村就一、俊春

中村さんは、写真の通り以前とお変わりなく、食欲もあり、お元気で過している。ただ、耳が遠いことと、目が良く見えないので、文字を読むのは難しいようだ。俊春会長の俳句が同人誌に掲載されたことを伝えて冊子を読んでもらおうとしたが、目が良く見えないと言う。以前は拡大鏡を使用して、本を読んでいたが、その日は拡大鏡が見当たらずに、読むことをあきらめた。(青宿 秀則)

5月10日(金)俊春会長と待ち合わせて、中村さん宅(ココファン柏明原)に行った。その日は外出デイサービスの日で、夕方ではないと戻らないということで、午後5時頃の訪問になった。会の近況報告や中村さんの状況などお話し、次回の「長南会通信」で会の皆さんに中村さんの近況を知らせても良いかどうかを確認した。中村さんには快く承諾していただいたので、次回訪問時に長南会通信63号をお届けすることにした。



ココファン柏明原
柏市明原 4-10-12-214
TEL 04-7141-1601
月水金土デイサービス

旧吉田家住宅 (柏市)



中村さん宅から車で15分くらい北にある、花野井という場所にあり、都会の住宅地には似合わない佇まいの古民家で、現在は柏市の公園になっている。以前、中村さん宅訪問時に、近所で事業を行っている知人に案内され、初めて訪れた所で、今回2度目の訪問。建物と敷地は平成16年に柏市に遺贈され、塀をめぐらしてある門の外側は、広い芝地と駐車場になっており建物と敷地面積は、6500坪(約22ha)だそうだ。



入り口は、昔のままの長屋門に料金所があり、入場するとガイドが待っていて、約1時間の説明付きで庭園と屋敷内を見学することができる。長屋門(写真1)は幅約25mで、天保2年(1831)に建てられ、米蔵や倉庫として使われていたそうだが、今は一部を軽食スペースとして活用されている。



母屋(写真4)は、大きな茅葺屋根の古民家。正面から右側に式台、中央に帳場部屋、左に土間。武家、商家、農家の三つの顔を持つ。それぞれ違う作り方で客によって入り口や、入る部屋を分けていたという。畳の敷き方や、部屋の雰囲気が違う。

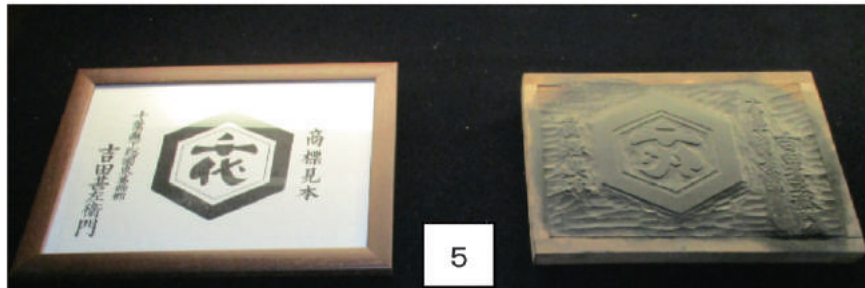
母屋の中心にある大黒柱は幅40cmのケヤキで、この大きな茅葺屋根を支えている。思わず触ってしまったら、重要文化財なので見学者は触らないようにと注意された。かまどの部屋は、天井裏がなく、1本丸太のはりがむき出しで、火災防止の漆喰が塗られており、どれもすずで真っ黒になっている。屋根の中央には煙を排出する煙突の役割をする、小さな屋根がつけてある。畳の部屋に靴を脱いで上がると、そこは食事をする場所か?さらに奥に進



むと、質素な書院造の部屋(写真3)。床の間や、違い棚がある部屋から、綺麗に手入れされた庭園が見渡せる。武士が立ち寄った時に通す部屋なのであろう。現在、屋敷の裏手には広大なテニスコートがあり、数々の大きなテニス大会が開かれていて、吉田家主催のテニススクールも行われている。テニスが盛んな理由は、吉田家にはあの往年のテニスプレイヤーである、沢松和子さんが嫁いだことからかもしれない。公開されている古民家の隣の旧醤油醸造所跡には、43代目の当主のお住まいがあり、古民家とも洋式とも見える立派なお屋敷がある。(沢松和子さんは43代目に嫁いだ)

醤油醸造事業の商標は「亀甲千代」キッコーマンに吸収されたが亀甲の名を残したのか？(写真5)明治以降の近代化の波に飲み込まれたのか？利根川流域は醤油醸造が盛んだった。有名なところは銚子のヤマサ、野田のキッコ

ーマンなど。これは、利根川が重要な江戸への物流ルートであったからであろう。流域の米が江戸へ流通したように、味噌醤油などの調味料も水運で運



ばれた。旧吉田家住宅公園は、定休日が毎週月曜日、入園時間が 9:00～16:30、入園料 200 円(65 歳以上は 100 円)。是非一度見学してください。

長南と田老を結ぶ謎の歌

歴史物語の痛快さと、全国名所旧跡を居ながら観光の楽しさを満喫させてくれたテレビの義経ブームにあやかる気はさらさらに無いが、我が家の先祖の一人である長南次郎忠春が、源氏ゆかりの坂東武者として、義経の武将の中に名を連ねているのと、その忠春の生国であり、我等長南氏発祥の地である現在の千葉県長生郡長南町(旧上総国長柄郡長南の庄)に伝わっている「朝日照る夕日輝く其の所 うるし千杯朱千杯」という謎の歌とほとんど同一の「朝日とろとろ夕日輝く曾根の松 うるし万杯埋めておくおく」という歌が、東国上総とは程遠い北辺奥州の小漁村にも古くから伝承されていることを図らずも知って、懐かしさと物好きからその起因を調べてみたところ、奇しくも我が家伝来の口碑に全く通じるものであるので、因縁の深さに今更ながら驚いたのである。

長南の庄

筆者の生家「長南氏」に伝わる系図、古事録、口碑などによると、長南氏の本氏は菅原氏で、つまり世に言う天神様の道真公の11子「善智麿」(これは「尊卑分脈」や「菅原系図」等に載せられている滋殖の事と云う)がその兄淑茂が上総介として東国下向に際し、これに従って上総に赴き、当時の長柄郡長南の庄に土着して其の地の主となり、地名を冠して長南氏を号した。これが長南次郎滋殖であると云う。これから数代後の長南左衛門尉(白河朝の承保3年)の時に、桓武平氏千葉氏二代常長の八男常季が婿入りして長南氏を継いでいるので、千葉氏との血縁が深い。そのためか、治承の初め、源頼朝が石橋山の挙兵に敗れて海路安房に逃れ来り、房総の地を足場に再挙を計った時に、千葉氏宗家の常胤や支族の上総権ノ介広常等に率いられて頼朝方に参陣した軍勢の中に長南氏の

一族も加わってたようである。「東鑑」に「治承4年9月19日上総権ノ介広常、当国、周東、周西、伊南、伊北、長南、長北等を催具し2万騎を率い、隅田川辺に参上す」とあるのは、その事実を裏書きするものであろう。その時、頼朝方に参軍した長南氏一族の頭領の次郎忠春が弟の七郎忠清と行を共にしたようである。然し兄の次郎忠春が最後まで義経に忠勤を励んだのに対し、弟の七郎忠清は頼朝の家人として名を顕し、やがて草創時代の鎌倉幕府の高官として重用された事が「鎌倉武鑑」に記されている。反復向背常なき戦国の世の慣いとはいいいながら、兄弟が敵味方に分かれて争わなければならなかったということは、まことに哀しい限りである。この兄の次郎忠春が義経麾下の勇士として軍功を顕したことは、江戸時代の有名な武者絵画家、一猛斎歌川芳虎作の「源平軍記一の谷合戦図」に今しも鶴越の逆落しを敢行中の寄せ手の大将九郎判官義経の傍近



くにあつて、武蔵坊弁慶、畠山重忠、佐藤継信、那須与市宇高、和田義盛、杉ノ目太郎、増尾十郎等の面々と共に敵陣をはったとにらんでいる次郎忠春の勇姿が描かれている。この鶴越の壮挙に義経に随った手の者は抜群の板東武者70余騎であったという。これを描いた芳虎は主な武将には全て姓名を書き入れている。これは勿論史実に基づいて描いたものであろうから、忠春が義経の麾下でも屈指の勇姿であった事が判る。そしてこの忠春は後に頼朝に疎まれた義経が、奥州平泉の藤原氏を頼って東下りした際の数少ない従者の一人だったと伝えられている。そして其の時には、伊勢の三郎とか、駿河の次郎とか、出羽の何某とかに倣って、上総の次郎と名乗っていたというのが、真偽の程は詳らかではない。

平泉、田老

それから暫くの間、平泉の高館に住んで一応平和な日々を送っていた義経妻子と弁慶達の家従も執拗な鎌倉方の追手を迎えて、遂にこの平泉でことごとく討死したとなっているが、判官鼻頂の後世史家の成せる業か、この時、武蔵坊弁慶は主君義経の身代わりとなって後世「平泉、弁慶の立ち従生」と讃えられる壮烈な最期を遂げた。義経はその間に僅かの従者と共に佐藤継信、忠信の領地であった東海岸の気仙の里に逃れ、そこから更に海岸沿いに北上したと謂われている。その故か今は大船渡市となっている気仙の盛六郷(旧盛町、大船渡町、猪川村、立根村、赤崎村、日頃市村)には、伊勢、出羽、佐藤、佐々木、白木沢、平田、平山、刈屋、鈴木、千葉、村上、新沼等、源氏にゆかりの深い苗字を持つ人が多い。この大船渡市から北へ向かう海沿いの街道の所々に、義経に関する古跡が多いが、国立公園陸中海岸の中心である宮古市周辺の義経の屋敷があったと伝えられている判官館、または九郎の森(黒森とも云う)等はその中でも知られものであり、この他、

義経主従ゆかりの古跡伝説が豊富にある。

それはこの宮古市を中心とした閉伊地方が、義経には叔父に当たる大豪傑、鎮西ノ八郎為朝の子といわれる源頼基(閉伊頼基)が統括していた地方であり、その頼基の北の方音羽姫は、かつて義経の武将として宇治川の先陣争いで名を挙げた佐々木四郎高綱の息女といわれているから、義経が暫しの間、流亡の心身をこの地で養ったとしても一応は頷けるところである。それから後の義経主従はこの宮古(当時の横山の里)から更に北に10キロ程の田老にも足跡を残している。

筆者がさきに述べた我が家の先祖長南次郎忠春の生国上総の国長南の庄に伝わる謎の歌とそっくりそのままの「朝日とろとろ夕日輝く曾根の松 うるし万杯埋めておくおく」という歌が今も残っているのがこの田老である。

この田老は、鞍馬寺の遮那王時代の義経を平家専横の京都から、はるばると草深い奥州の平泉へ誘導した金売り吉次の故郷であるといわれ、その生家の末と伝えられる吉内氏が現存し、吉次が砂金を量る時に使用した秤などが家宝として残されているという。こうした点から義経が頼朝追捕の目を逃れるために北辺海岸の片田舎にある吉次の生家を最後の隠れ家と目指して、この地に落ち延びて来たものと考えられぬこともない。そして、ここまで義経に随ってきた長南忠春(或いは上総の次郎)がこの地に滞留中に、やるせない郷愁からふるさと長南の庄の謎の歌を、里の童達に教えたものではなかろうか。そしてそれが長い年月の間に若干姿を変えて今日まで残されたのではなかろうか。またこの地に残っている伝説には(いつの頃かは判らないが東国より落ち延びて来た忠春武者、或いは忠清、又は正春ともいわれている)が持って来た財宝を田老海岸のある場所に埋めかくした。そのかくした場所を移したのが、この「朝日とろとろ」の謎の歌であり、その忠春武者もやがてこの地で果てた)と結んでいる。

何せ700年以上も昔のことであるから、その真偽を審すことは不可能に近いが、我が家に伝承する忠春の口碑と、この田老に残る伝説が瓜二つであるのも不思議である。今後機会を得て現地を尋ね、忠春の足跡を求めて謎の歌の出所を究めたいと思う。

因みにこの長南の庄の謎の歌は、長南町長南三途台の古刹、桓武天皇の勅願時で、我が長南の菩提寺でもある大平埜山阿弥陀坊長福寿寺の現董今井長山師の御教示によるものである。

昭和41年 千葉日報に発表したもの 船本音羽

会費ありがとうございました。

2019/01/01～2019/05/31

氏名	都道府県	会費納入日	会費	氏名	都道府県	会費納入日	会費
長南 一男	札幌市	2019/03/05	3,000	長南 明夫	茨城県	2019/03/06	2,000
長南 一男	足寄郡	2019/03/05	4,000	長南 新一	埼玉県	2019/04/16	4,000
長南 進一	北海道	2019/04/02	3,000	長南 貴士	埼玉県	2019/03/11	2,000
長南 サカエ	宮城県	2019/04/26	3,000	芦原 貴美大	埼玉県	2019/03/04	2,000
星川 十一	宮城県	2019/03/28	2,000	長南 俊春	埼玉県	2019/05/10	22,000
長南 政直	宮城県	2019/04/23	2,000	長南 寛	埼玉県	2019/03/04	2,000
長南 亀悦	宮城県	2019/03/06	3,000	長南 邦年	埼玉県	2019/03/01	2,000
長南 和夫	宮城県	2019/03/12	3,000	長南 仁志	埼玉県	2019/03/19	10,000
長南 征二	宮城県	2019/03/08	2,000	近藤 忠行	千葉県	2019/03/12	3,000
長南 慎一	宮城県	2019/03/12	2,000	長南 誠一	千葉県	2019/03/04	2,000
長南 良彦	宮城県	2019/04/23	2,000	長南 隆	千葉県	2019/03/29	3,000
長南 竹雄	宮城県	2019/03/06	2,000	長南 英次郎	千葉県	2019/03/15	2,000
長南 俊蔵	山形県	2019/05/08	3,000	長南 克夫	千葉県	2019/03/08	2,000
長南 正	山形県	2019/04/15	6,000	長南 弘美	東京都	2019/03/07	4,000
長南 利幸	山形県	2019/03/18	3,000	長南 章彦	東京都	2019/04/03	2,000
長南 成	山形県	2019/03/08	5,000	斎藤 武夫	東京都	2019/03/05	32,000
長南 吉美	山形県	2019/03/04	2,000	長南 充浩	東京都	2019/03/11	2,000
長南 源一	山形県	2019/03/04	2,000	小野 巖	東京都	2019/02/27	10,000
長南 恵三	山形県	2019/03/04	2,000	長南 晴章	東京都	2019/03/06	2,000
長南 厚	山形県	2019/03/14	2,000	山本 良子	東京都	2019/03/08	2,000
長南 儀一	山形県	2019/03/12	2,000	長南 恒弘	神奈川県	2019/03/19	2,000
長南 政幸	福島県	2019/03/11	5,000	長南 正道	北海道	2019/03/05	2,000
長南 勝幸	福島県	2019/03/07	2,000	長南 誠悦	神奈川県	2019/03/22	2,000
長南 豊	福島県	2019/03/05	2,000	長南 一夫	神奈川県	2019/03/08	2,000
長南 仁	福島県	2019/03/05	5,000	長南 光紀	神奈川県	2019/03/06	2,000
長南 太一	福島県	2019/03/01	3,000	西海 清	神奈川県	2019/03/04	2,000
長南 信夫	福島県	2019/05/14	2,000	坂上 美智代	神奈川県	2019/03/08	2,000
長南 武夫	茨城県	2019/03/04	2,000	白井 ヒサエ	愛知県	2019/03/11	2,000
長南 照光	茨城県	2019/03/05	12,000	長南 鉦一	滋賀県	2019/03/11	2,000
長南 秀則	茨城県	2019/03/30	10,000	長南 忠直	奈良県	2019/03/07	2,000
長南 国男	茨城県	2019/03/13	5,000				
長南 信雄	茨城県	2019/03/12	2,000				
合 計			241,000	合 計			241,000

摘 要	支出	収入
会費		241,000
受取利息		2
和泉守墓管理費用	30,000	
紅花祭協賛金	20,000	
通信印刷代	12,751	
通信発送代	10,900	
旅費交通費	7,096	
通信費	2,065	
接待交際費	4,557	
事務用品費	8,352	
雑費	5,782	
合 計	101,503	241,002

現金	105,920
普通預金	643,386
当座預金	692
残 高	749,998

前期繰越	610,499
収入	241,002
支出	101,503
残 高	749,998

你好！ニイハオ

私は、現在、頭の体操や視野を広めるという目的から、中国語の勉強をしている。主に会話中心の勉強だ。地域の交流センター（公民館）で同好会メンバー10人ほどが集まり、中国人講師を招いて月に2回ほど行っている。

中国語とのかかわりは、大学の第2外国語の授業に中国語を選んだことから。ちょうどその年は中国との国交回復の年で、当時の日本の田中角栄首相と中国の周恩来首相が大きな握手と、中国酒での乾杯がテレビ放映されニュースになった頃である。

学生時代の2年間の授業の後には、中国語を使うことは全くなく、忘れていたが、今回は特に何がきっかけで始めたということではないが、けっこう楽しいので現在も続けている。

今のところは、簡単な会話と単語を覚えているところだが、若い人と違って、すぐ忘れてしまうので、なかなか上達しない。なるべく中国語を書いて覚えるようにしている。中国語は漢字なので、大体の意味はわかる。でも、テレビのニュースなどで、中国人の会話を聞くとほとんど判らない。今のところは、時々1つか2つ、聞いたことのある



単語がでてくるという程度だ。

日本語は、中国からそのまま来ているものが多いので、なるほどと思う言葉が多い。

中国語	中国発音	日本語	日本発音
西瓜	シーグア	西瓜	スイカ
葡萄	プータオ	葡萄	ぶどう
苹果	ピングオ	林檎	りんご

私の見解だが、これらの果物は多分中国から来ているのではないかと思う。発音が良く似ている。どう思いますか？

それと、漢字は日本語と同じだが、中国語では意味が違うものがある。それをご紹介します。

【手紙】ショウジー

手紙ではなく中国語ではトイレトペーパー

【走】ゾウ

中国語は「歩く」。你慢走 は「ゆっくり歩く」で「気をつけて行ってね！」の意味。

【工作】ゴンズオ

日本語では「スパイ」のようだが、働く や スタッフの意味。我是公司工作 は、「私は会社員です。」

【小心】シヤオシン

日本語は、気が小さいの意味だが、「気をつける」。

【告訴】ガオス

単純に「教える」の意味。我告诉你 は「あなたを告訴する」ではなく「あなたに教えます」。

【鬼】グイ

日本では角が生えていて、赤や青い顔をしている物をイメージするけど。中国では幽霊、妖怪を言うらしい。鬼が付く言葉は色々ある。例えば「酒鬼」酔っぱらい、「肝小鬼」小心者、「色鬼」スケベ、等

【勉強】ミエンチャン

中国語は頑固、無理やりさせる、強制する。中国語で勉強するは、学(シュエ)学习(シュエシ)

【愛人】アイレン

配偶者、妻、夫のことを言うらしいが、最近では妻、夫人という言葉を使う。

若い世代は使わないけど、という前置きで

【老婆】ラオバ

妻。昔は若い新妻も老婆と呼ばれてかわいそう。

【汽車】チチチュ

自動車 今は車という。簡体字で 车。

【大概】ダァガイ

「たいがい」ではなく「だいたい」



【左右】ズオヨウ

「さゆう、みぎひだり」ではなく「約、だいたい」

その他

【挨拶】拷問 【湯】スープ 【机】機械 【顔色】色

【大家】皆さん【手机】携帯電話(スマホも)

机はデスクの机ではなく、機の簡体字なので、「手機」であり、これならば納得できる。

中国語を意識しているせいか、或いは日本滞在(留学)の中国人が多くなったせいか、中国人と会う機会が多く、勇気を出して話しかけてみると、皆さんうれしそうに返事をしてくれる。「你是中国人吗? ニイシツンゴレンマ?」あなたは中国人ですか?と話しかけると、「对! 你也是吗? トイ、ニイイエシマ?」そうです。あなたもそうですか?と返事されると、少しは発音が良かったかなと、うれしく思う。

中国語は「声調」という、4種類の音の高低で意味が異なるので難しい。簡単な会話ができるようになるのが目標だが、どうなることか。(青宿 秀則)

6月18日(火)深夜、新潟、山形で震度6の地震が発生しました。地域の新聞によると、日本海側のあつみ温泉では温泉供給施設の破損で、旅館が一時営業できなくなったり、酒蔵では出荷前の日本酒の瓶が大量に割れるなどの被害があったそうです。こちらは(関東茨城県)はほとんど気がつかない揺れでしたが、朝のニュースで知りました。ニュースを見て、鶴岡市の長南成さんに電話したところ、「大きな揺れで、棚のものが落ちて驚いたが、片付けた。水道、電気、ガスは大丈夫。」ということだったので少し安心しました。皆さんのお住まいの地域も大きな揺れで、驚いたでしょうし、被害もあったろうかと思います。

新潟山形地震で被災した皆様には
心から御見舞申し上げます。

